

後期基本計画（案）に対する意見の対応等について

1 第3回総合計画審議会（9月11日開催）における委員意見の対応

委員意見のうち、「対応を担当部局と検討する」と回答したものへの対応は、次のとおり。

No.	政策分野 (施策)	該当 頁	委員の意見等	対応
1	市民が主役の まちづくり (男女共同参 画社会の形成)	10	・目標について、「女性の管理職が いる企業の割合」は、企業に1人でも いれば数値が上がることから、もっ と多くの女性の活躍を表わす目標 を設定できないか。例えば、「女性 の管理職が一定割合以上いる企業 数」など。	・就業分野に限らず、広く、市政や まちづくりへの参画を示す目標と して「市の審議会等の女性登用率」 を追加設定する。
2	市民が主役の まちづくり (まちづくりの 人材育成・確保)	14	・人材育成の柱に「女性」が記載され ているが、いかにも女性が差別を受 けているかのような印象を受ける。 「性別にとらわれず」と記載したほ うが良いのでは。	・誤った印象を与えないよう、意見 のとおり変更する。
3	市民が主役の まちづくり (まちづくりの 人材育成・確保)	14	・人材育成に関する目標を設定すべき ではないか。	・具体の目標は、女性活躍や若者就 労、障害者福祉等の各施策に記載 する。
4	市民が主役の まちづくり (-)	-	・様々な分野で「女性」の記載がある が、農業分野では女性も男性も関係 ないので女性を過少評価しない文 言にしてもらいたい。	・農林水産業分野では男女共同参画 の考えの下、性別にとられない 記述としている。
5	防災・防犯分野 (地域防災力 の維持・向上)	25	・市民一人ひとりの意識の向上は重要 であるが、「的確な判断で行動する ための知識の普及」は、もう少し分 かりやすい表現のほうが良い。	・避難行動に向けた知識の普及につ いて分かりやすい表現に変更す る。
6	防災・防犯分野 (地域防災力 の維持・向上)	25	・学校での防災教育や、地域における 防災ワークショップ等の具体例を 挙げると分かりやすい。	・具体の取組について本文には記載 しないが、施策の推進に当たり参 考とする。
7	防災・防犯分野 (災害に強い 都市構造の構 築)	22	・空き家対策について、所有者への維 持管理の助言・指導にとどまらず、 倒壊寸前の空き家の対応を示せな いか。	・老朽化した危険な空き家の維持管 理とともに、除却に向けた助言・ 指導等について記載する。
8	防災・防犯分野 (防犯対策の 推進)	28 78	・「見守り活動の活発化」に関して、 小中学校の登下校時の見守り隊が 必要と言われているが、結成できて いない。また、教育分野でも記載が 必要ではないか。	・「地域ぐるみの教育の推進」の施 策における「子どもたちが安全な 生活を送れる活動」の中に、見守 り隊も含めた防犯面の取組を包含 している。
9	環境分野 (地球温暖化 対策の推進)	38	・太陽光発電と下水道エネルギーが具 体例として記載されているが、多様 性は重要である。全て記載する必要 はないが、文言の検討が必要ではな いか。	・公共施設において活用する雪冷熱 や地中熱について追記する。

No.	政策分野 (施策)	該当 頁	委員の意見等	対応
10	健康福祉分野 (地域医療体制の充実)	44	・センター病院の訪問看護のみが目標になっているが、他にも訪問看護を実施している事業所があるので、それらの事業所の数を含めた目標にすることはできないか。	・全ての事業所の訪問看護数も把握しているが、「上越地域医療センター病院の機能強化」に係る目標であるため、センター病院の訪問看護数のままとする。
11	健康福祉分野 (地域医療体制の充実)	44	・目標について、医師の人口割合を現状よりも上げる目標を設定できないか。	・全国的な医師不足等で、医師の確保・増加は容易でないため、まずは、現状の維持を目指す。
12	健康福祉分野 (こころと体の健康の増進など)	41	・市では「妊娠期からの切れ目のない支援」を進めているはずである。整合を図って「妊娠期からの…」の表現とすべきである。	・指摘のとおり本施策及び関連する「子育てに関する負担や不安の軽減」の施策中(P51)に表現を追加する。
13	産業・経済分野 (観光の振興)	62	・インバウンドに対する情報発信は重要だが、wi-fi やキャッシュレス化など、受入れ環境の整備も重要である。	・本文に記載する「旅行者が快適に巡ることができる環境整備」としてインバウンド対応を図る。
14	産業・経済分野 (観光の振興)	62	・メイド・イン上越等の特産品もあることから、文化や食等のほかに、地域の魅力として「特産品」の文言を加えてはどうか。 ・「目に見えない物語」の記載について、「地域の魅力が伝わる質の高い情報発信」としたらどうか。	・メイド・イン上越認証品のほか、上越野菜や郷土料理などを包含して「食」と表現しているため、具体には記載しない。 ・「観光資源の背景にある物語を含めた質の高い情報発信」に修正する。
15	産業・経済分野 (観光の振興)	62	・高速道路の整備も進み、コンベンション協会では、高速交通網を活かしたバスツアーの誘客を進めている。立ち寄りだけでなく、「宿泊」を加えて記載すると良い。	・「周遊・滞在交流型観光の強化」の表現に宿泊促進を含むため、本文には記載しない。
16	産業・経済分野 (観光の振興)	62	・目標について、「市民と事業者との連携に対する満足度」なのか、「観光振興の現状に対する満足度」なのかが分かりにくい。	・「市の観光振興に対する満足度」であることを併記する。
17	産業・経済分野 (就労支援の充実)	66	・技能労働者に対する支援とは、具体的にどのような取り組みを考えているのか。	・「上越人材ハイスクールへの職業訓練補助」や「技能五輪等出場選手への補助」などを予定している。具体的な取組であるため、本文には記載しない。
18	産業・経済分野 (就労支援の充実)	66	・ワーク・ライフ・バランスに配慮した事業所の割合よりも、働いている人の実感に関する目標を設定できないか。	・働いている人の実感として「仕事と生活のバランスについて満足している人の割合」の目標を設定する。
19	農林水産分野 (農業の振興)	68	・農産物の消費量が減少する中で産地間競争に生き抜くため、輸出に関する取組を記載できないか。	・輸出促進に向けた関係団体との連携について記載する。

No.	政策分野 (施策)	該当 頁	委員の意見等	対応
20	教育・文化分野 （「地・徳・体」 を育む学校教育 の推進）	75	・「全国標準学力テスト」と記載すべきではないか。	・「全国標準学力検査」に修正する。
21	教育・文化分野 （「地・徳・体」 を育む学校教育 の推進）	76	・試行段階ではあるが、小中一貫教育の充実に取り組んでいることを記載できないか。	・切れ目のない教育活動ができるよう、小中連携と小中一貫教育について記載する。
22	教育・文化分野 （学校教育環境 の整備）	77	・いじめや不登校に限らず、育児放棄やネグレクトの問題への対応を記載できないか。	・いじめ、不登校以外にも様々な問題があることから、それらを包含した表現に修正する。
23	教育・文化分野 （学校教育環境 の整備）	77	・教育委員会では教育大綱を作成し「0～18歳までの切れ目のない支援」を掲げている。「切れ目のない支援」の記載が必要ではないか。	・意見のとおり「現状と課題」中に記載する。
24	教育・文化分野 （スポーツ活動 の推進）	82	・「各種スポーツ教室等」を「各種健康・スポーツ教室等」としてはどうか。 ・「選手と触れ合う機会」を「トップアスリートと触れ合う機会」又は「選手や指導者と触れ合う機会」としてはどうか。	・「各種健康・スポーツ教室」に変更する。 ・「オリンピックやパラリンピアン等と触れ合う機会」に変更する。
25	教育・文化分野 （スポーツ活動 の推進）	82	・目標について、全国大会等への出場数は、学校の部活動よりも、地域スポーツクラブや競技団体等のほうが多い。また、北信越大会は中高生だけではなく小学生も含まれているため、目標の記載を整理すべき。	・項目名を「小中高校生の北信越・全国クラスの大会の出場数（学校部活動以外も含む。）」に変更する。
26	都市基盤分野 （機能的・効率的な交通ネットワークの確立）	88	・目標について、「鶴町IC～三和IC間の工事が計画どおり進捗」を「鶴町IC～三和IC間の工事中」に修正すべき。	・意見のとおり修正する。
27	その他	-	・難しい用語や、分かりにくい表現もあるため、用語解説を設けるなど、工夫できないか。	・より平易で具体的な表現となるよう、文言修正を行う。 ・本文中に表現できないものは、巻末に用語解説を設ける。

2 市議会総務常任委員会 所管事務調査（9月28日開催）における委員意見の対応

主な意見とその対応は、次のとおり。

No.	政策分野 (施策)	該当 頁	委員の意見等	対応
1	市民が主役の まちづくり (まちづくり の人材育成・確保)	14	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成に関する記載がこれまでの取組に終始していると感じる。もう一步踏み込み、新たな取組を記載してもらいたい。 若者等の定住・UIJ ターンズの促進について、「若者の視点をいかしたまちづくりを推進」と記載しているが、ハードやソフトの要望が出たときにどのような対応をとるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的取組は、女性活躍や若者就労、障害者福祉等の各施策に記載し、本施策では、人材育成の取組を政策分野を横断して一体的かつ重点的に推進することを記載する構成にしているため、原案のままとする。 ハードやソフトの要望への対応については、他の施策の取組に関する要望と同様に、毎年度の事業計画の中で実施の要否や優先順位を検討する。
2	市民が主役の まちづくり (市民活動の 促進)	16	<ul style="list-style-type: none"> 域学連携の記載について、「地域の課題解決」だけでなく、総務省が掲げるように「地域の活性化」の文言が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 域学連携の取組は、「地域の活性化」の視点もあるため、文言を追加する。
3	市民が主役の まちづくり (地域自治の 推進)	18	<ul style="list-style-type: none"> 「地域コミュニティ活動の促進」に関する記載の中で、「取組」の表現は「活動」が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「活動」の表現が適切であるため、変更する。
4	防災・防犯分野 (大規模災害 への対応力の 強化)	20	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉避難所への迅速な避難を確保」の表現について、「福祉避難所を確保し、迅速な避難を実現する」が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所（指定は完了）への迅速な避難を図る表現に修正する。
5	防災・防犯分野 (地域防災力の 維持・向上)	26	<ul style="list-style-type: none"> 水害や地震等を想定した市民による訓練の重要性をもっと強調して記載すべきである。訓練により市民の自助・共助に結び付くと考え。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の推進とともに防災の知識・意識の向上が必要であるため、記載する。
6	防災・防犯分野 (防犯対策の 推進)	28	<ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブルの被害防止と、特殊詐欺犯罪の対策との関係を分かりやすく表現すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブルと特殊詐欺犯罪に関する記載を分けて、明確に表現する。
7	環境分野 (ごみ減量・リ サイクルの推 進)	32	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルの推進に関する表現について、「意識醸成と適正な取組」が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの適正分別と再資源化の推進に向けた啓発に取り組むことを明確に記載する。
8	環境分野 (環境汚染の 防止)	34	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の「未普及地域」の表現は、「計画区域内の未整備地域」と「計画区域外」のどちらのことを言っているのかが分かりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計画区域内の未整備地域」を指しているため、修正する。

No.	政策分野 (施策)	該当 頁	委員の意見等	対応
9	産業・経済分野 (観光の振興)	61 62	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民一人ひとりが思いを寄せて」の表現は概念的で伝わりづらい。 ・情報発信や人材育成だけでなく、市が市民とともに観光資源の磨き上げに取り組むことを記載すべき。 ・「市内宿泊施設の定員稼働率」の目標について、数値が明確な指標であるため、削除すべきではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい表現に修正する。 ・市民参画の促進により観光資源の磨き上げが期待されることから、より分かりやすい表現となるよう、「市を挙げた観光コンテンツの魅力向上」等を追加する。 ・市内の全宿泊施設のうち、回答は3割程度で、回答施設も毎回異なることから、市全体の宿泊状況や推移を表すには不十分であると判断し、設定しない。
10	教育・文化分野 (学校教育環境の整備)	78	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の適正配置の議論」の目標について、市が統廃合を誘導するとも取れるが、目標設定は必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級が常態化している学校もあることから、保護者や地域に丁寧に説明し、理解を得ながら教育委員会が主導して学校の適正配置を進めていく必要がある。 ・目標値は、望ましい教育環境を実現するための目安として設定するものであり、原案のままとする。
11	教育・文化分野 (スポーツ活動の推進)	81 82	<ul style="list-style-type: none"> ・「体操のまち上越」の表現を加える必要がある。スポーツ分野の話だけではなく、市民の健康づくりを含めた大きな構想として掲げたものである。 ・若者が取り組むニュースポーツの振興について記載すべき。 ・「県立武道館」を活用することが大切であるので記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘のとおり「体操のまち上越」の取組を推進していることを、「現状と課題」に記載する。 ・スポーツは、子どもから大人まで、また、生涯スポーツから競技スポーツまでを総体的に推進していくため、若者に人気のスポーツに特化した記載はしない。 ・現時点では活用の具体的内容を明記できる段階にないが、活用を図る必要があるため、「現状と課題」に記載する。